

No.15 ともに支え合う地域づくり〈地域福祉・介護・認知症予防〉 （健康福祉課）

令和5年度までにめざす姿

- ①地域全体で支え合う仕組みづくりを目指します。
- ②安心感と生きがいを持ち、生涯現役で活躍できる地域づくりを進めます。
- ③地域の課題を「他人事」ではなく、「わが事」としてとらえ、住民が主体的に課題を解決できる地域づくりを進め、必要なサービス等が円滑に利用できるよう、相談窓口体制を充実します。
- ④体操を中心とした身近な集いの場を普及し、地域全体で介護予防・認知症予防に取り組みます。

令和2年度にめざした成果

- ①②③地域住民、社会福祉協議会、行政が連携し地域課題を捉え地域福祉推進計画策定に取り組みます。
- ④住民同士の集いの場として100歳体操を活用することで、介護予防・認知予防につながることを広報、啓発し新たに開始する集落を増やします。

令和2年度にめざした活動

- ①②③地域福祉推進計画の策定を通じ、地域の福祉課題や解決に向けた話し合いを充実します。
- ④リーダー養成講座や体験会の開催を通じ、新たに100歳体操を始める集落について、10集落を目標とします。

令和2年度の成果

- ①②③地域福祉計画策をきっかけに協議会と話を重ね、地区課題をみつけることができました。
- ④外出自粛期間において、100歳体操で集まることができない機関に3チャンネルで体操について情報提供をしました。また、体操の継続を目的に、リーダー養成講座を行いました。

令和2年度の問題

- ①②③地域における福祉の必要性が高まっていないと感じました。
- ④コロナ禍において、集団で運動することが難しい時期がありました。その後のアンケートで、約3割の方が筋力の低下を自覚したと回答がありました。また、新たに100歳体操を始めた集落は5か所に留まり、計44集落での実施となりました。

令和3年度以降の方策

(1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

- ①②③福祉計画実施にむけて、さらに振興協議会と社協との話し合いを重ねていきます。
- ④100歳体操の実施個所を増やすため、引き続き啓発活動に努めていきます。

(2) 解決すべき問題への方策

- ④コロナ感染拡大状況をみながら、体操を継続できるよう集落の支援を行います。

(3) 新たに取組む方策

- ①②③福祉計画を協議会単位で実施できるよう、各協議会と話し合う場を増やします。